

6 款 農林水産業費		2 項 林業費		2 目 緑化推進費				
事業	事務事業名	緑化推進費				担当部署	産業経済部	
	390 予算事業名	( 緑化推進費 )				課名	農林水産課	
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度		電話	82 - 1959	
	総合計画	施策の大綱	第 4 部 潤いのある安心して暮らせるまち				実 施 法 (H26)	業務委託
		政策 ( 章 )	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					一部業務委託
		施策 ( 節 )	第 2 節 生活環境の充実					市直営
根拠法令等								
事業目的	対象	誰を・何を 全市民						
	意図	どのような状態に 花と緑の銀行射水支店の活動以外で市内の緑化推進を図るための費用。						
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名	
		基	63	36	36	36	市管理のプランター数	
事業内容	手段	どのような方法で ・緑化担当パート賃金・雇用保険料 ・小杉駅前プランター管理委託料						
		活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名
活動指標	事業内容 ( 手段 ) の活動量・量を提示する	回	122	52	51	51	市管理プランター散水等の回数	
		箇所	3	1	1	1	市管理プランター設置箇所	
		備考	その他説明を要する事項 平成 24 年度の事業評価により市予算で管理するプランターは、1 箇所のみとなった。					
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項	
	直接事業費		936	1,507	1,481	1,553	平成 24 年度の事業評価により市予算で管理するプランターは、1 箇所のみとなったため減となったが、緑化担当パート賃金が平成 25 年度より緑化推進費で支出することになったため増となった。	
	( 当初予算額 )		( 1,015 )	( 1,562 )	( 1,577 )			
	うち臨時職員人件費		0	1,023	1,038	1,041		
	財源内訳							
	国・県支出金							
地方債								
その他								
一般財源		936	1,507	1,481	1,553			
個別評価	評価項目		説 明					
	妥当性 ( a ~ c )	a	市の玄関口である小杉駅前を市で責任をもって管理することは市のイメージアップにも繋がり妥当である。					
	有効性 ( a ~ c )	a	小杉駅前のプランターについては、花と緑の銀行射水支店では、引き受けていただく団体がなく、廃止の方向に進んだが、市の玄関口である小杉駅前は、市で責任を持って管理するという結論に至った経緯があり市のイメージを良くする点からも有効である。					
	効率性 ( a ~ c )	a	経費は、緑化担当パート賃金、小杉駅前のプランター管理など必要最小限度である。					
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当				評価結果 ( A ~ C )	
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					評価委員会のコメント	
	廃止・休止	小杉駅前は、花と緑の銀行射水支店で管理することも検討されたが、現在も引き受け手がなく、市の顔である駅前を市で責任をもって管理する結論にいたった経緯もあり、現行のとおりとすることが望ましい。						
	規模縮小							
	統合・連携							
	民間活用							
	負担適正化							
	やり方改善							
現行どおり								
拡充								
総合評価 ( 2 次評価 )								

6 款	農林水産業費	2 項	林業費	2 目	緑化推進費				
事業	事務事業名	緑化推進費				担当	産業経済部		
390	予算事業名	( 緑化推進費 )				課名	農林水産課		
						電話	82 - 1959		
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )						判定	
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。							
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。							
	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。							
有効性	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。							
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。							
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。							
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。							
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。							
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。							
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。							
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果			
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当			

性質	交付先区分		類型区分						
	補助区分		算定方法						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目		
	補助金等交付件数								
	補助金等交付額								
交付団体状況	うち一般財源					事務局体制	項目		
	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算				
	交付先歳入決算額								
	補助金の占める割合								
	交付先歳出決算額								
事業目的	次年度繰越額					法人会員数	項目		
	歳出に占める割合								
事業内容	団体構成員負担					個人会員数			
	対象	誰を・何を							
事業内容	意図	どのような状態に							
	手段	どのような方法で							

6 款 農林水産業費		2 項 林業費		2 目 緑化推進費				
事業	事務事業名	花と緑の銀行射水支店補助金				担当部署	産業経済部	
	392	予算事業名	( 緑化推進費 )				課名	農林水産課
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度		電話	8 2 - 1 9 5 9	
	総合計画	施策の大綱	第 4 部 潤いのある安心して暮らせるまち				実施方法 (H26)	
		政策 ( 章 )	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					
		施策 ( 節 )	第 2 節 生活環境の充実					
根拠法令等	公益財団法人花と緑の銀行支店活動推進事業交付金交付要綱、射水市補助金等交付規則							
事業目的	補助金等交付先	花と緑の銀行射水支店						
	補助金等交付目的	地域における花づくり活動の推進と人材の育成						
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名	
		箇所	6	3	4	5	富山県花と緑のコンクール上位入賞花壇数 ( 最優秀賞含む )	
		箇所	0	1	2	2	新設花壇数	
事業内容	手段	補助金等を用いて実施する主な活動 ・花と緑の指導員の活動を推進し、地域に花と緑の普及を支援する。 ・地域における花づくり活動の推進と人材育成 ・地域学校等での技術指導						
		活動指標	補助金等交付件数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込
		件	1	1	1	1	補助金交付件数	
備考	その他説明を要する事項							
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項	
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		9,100	9,700	11,070	10,077	H26年度は、花壇造成 2 箇所、おもてなしフラワー事業ハード事業 ( 1000 千円 ) 増のため事業費増。H27年度も花壇造成 2 カ所。	
	( 当初予算額 )		( 9,100 )	( 9,700 )	( 11,070 )			
	うち臨時職員人件費		266	82	53	180		
	財源内訳	国・県支出金						
		地方債						
その他		3,533	3,932	4,727	5,334			
一般財源		5,567	5,768	6,343	4,743			
個別評価	評価項目	説明						
	妥当性 ( a ~ c )	a	昭和 4 8 年に「県民が花や木を育てる楽しさを知り、それが生活に定着することを期待し、広く県民の参加と協力を得て、花と緑の豊かな、快適で健全な社会の創造に寄与する。」ことを理念に設立された公益財団法人「花と緑の銀行」の射水支店である。その理念に基づき地域における花づくり活動の推進と人材の育成をすることは妥当である。					
	有効性 ( a ~ c )	a	花づくりを通して世代間の交流や住民同士の連携、情操教育の推進を図ることは有効である。					
	効率性 ( a ~ c )	a	費用のほとんどが花苗や緑化木の費用にあてられて花壇整備や水やり等は、ボランティアで行っているため業者に委託を行うより効率的である。					
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当				評価結果 ( A ~ C )	
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					評価委員会のコメント	
	廃止・休止							
	規模縮小	昭和 4 8 年に「県民が花や木を育てる楽しさを知り、それが生活に定着することを期待し、広く県民の参加と協力を得て、花と緑の豊かな、快適で健全な社会の創造に寄与する。」ことを理念に設立された公益財団法人「花と緑の銀行」の射水支店である。富山県の「花と緑の元気とやま推進プラン」の中核を担う団体であり、当市においても緑化推進の中心は花と緑の銀行射水支店とされており現行通りとするのが望ましい。						
	統合・連携							
	民間活用							
	負担適正化							
やり方改善								
現行どおり								
拡充								
						総合評価 ( 2 次評価 )		

6 款	農林水産業費	2 項	林業費	2 目	緑化推進費				
事業	事務事業名	花と緑の銀行射水支店補助金				担当	産業経済部		
392	予算事業名	(緑化推進費)				課名	農林水産課		
						電話	82-1959		
評価項目	評価の視点	内容(該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない(妥当性をaとする)						判定	
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。							
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。							
	受益者・費用負担	事業内容(手段)の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。							
有効性	政策体系との整合性	事業の成果(意図)が、上位施策の目標達成に結びついている(貢献している)。							
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。							
	成果の向上余地	事業内容(手段)を工夫しても、成果を向上させる余地はない。							
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。							
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。							
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。							
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。							
評価結果	個別評価(a~c)	妥当性	有効性	効率性	総合評価(A~C)	評価結果			
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当			

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額		算定方法	・地域緑化推進対策費補助金 2,160千円・花苗、球根、緑化木購入補助金 1,859千円・地域の花づくり推進事業 2,350千円・緑化促進事業補助金 2,536千円・支店活動補助金 222千円・花壇コンクール開催補助金 400千円・おもてなしフラワー事業 100千円・菊花展開催、薔薇園管理補助金 450千円			
	定率	その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	1件	1件	1件	1件		なし(市単独補助)	
	補助金等交付額	9,100千円	9,700千円	11,070千円	10,077千円		国補助( % )	
	うち一般財源	5,567千円	5,768千円	6,343千円	4,743千円		県補助( 43 % )	
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目	
	交付先歳入決算額	10,005千円	10,698千円	11,885千円			非該当・事務局なし	
	補助金の占める割合	91.0 %	90.7 %	93.1 %			担当課が主体	
	交付先歳出決算額	9,337千円	10,210千円	11,315千円			交付団体が主体	
	次年度繰越額	668千円	488千円	570千円			その他	
	歳出に占める割合	7.2 %	4.8 %	5.0 %			↳ ( )	
事業目的	対象	花と緑の銀行射水支店					法人会員数	団体
	意図	地域における花づくり活動の推進と人材の育成					個人会員数	124人
事業内容	手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>花と緑の指導員の活動を推進し、地域に花と緑の普及を支援する。</li> <li>地域における花づくり活動の推進と人材育成</li> <li>地域学校等での技術指導</li> </ul>						
	補助金等の受け手							